

やすらぎ

平成 20 年 12 月 1 日
〔第 116 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

事後開発生涯学習講演会



11 月 22 日(土)午後 2 時より、本年度第 1 回目の事後開発講演会が御所事務所で開かれました。9 月におこなった生涯学習セミナーの一角昌博講師の話がわかりやすく、ジェスチャーや事例なども良く、もう一度聞きたいという声があり、講師を再度御願ひする事になりました。

参加者の募集には、セミナーの時のご縁を切らさぬようにと、主に前回の受講者に案内しました。充分なご案内できたかどうか、反省点もございましたが、50 人以上のお申し込みを頂き開催いたしました。

一角講師のお話は力強く、テンポよくお話になり、まだまだ聞きたいと思うほど時間が短く感じられました。

一角講師の息子さんが営む「かつめし」のお店の話では、経営が順調ではなかった時に相談を受け、恩人への恩返しの助言をしたところ、恩返しの実行をする中から運が開け、その後順調に経営が進みだした話がありました。

何かをしたから何かがおこるといものでもないでしょうが、一事が万事、全てに感謝の気持

ちをもってあたれば、運がひらけるに違いないと感じました。

今回の講演会も皆様のご協力のおかげでたくさんの方々のお申し込みを頂き、ご聴講をいただいたものと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

生涯学習セミナー実行委員長 山下幸則

全国青年大会 北海道発 モラロジアンよ 大志を抱け!

2008 年 9 月 20 日(土) 9 月 21 日(日) 札幌市において「平成 20 年度全国青年大会(北海道)」が開催されました。全国から 559 名の同志が集い、熱く語り、交流を深めた 2 日間になりました。

御所事務所からは、私 1 人の参加になりましたが、奈良県青年クラブのメンバー 15 人と共に北海道に乗り込みました。



季節のいい時期なので、飛行機代と時間的なゆとりを考慮して前日から北海道に入り、奈良県のメンバーだけで前夜祭を行いました。北海道のおいしい料理とビールを堪能し、締めはお決まりの味噌ラーメン。行列のできるお店で小一時間程並

びラーメンを食べてホテルに戻りました。

次の日は、札幌の大通り公園やテレビ塔を散策し、昼食は札幌の朝市で海鮮丼をいただきました。またこの海鮮丼のおいしいこと。メインの全国大会が始まるまでに、食べ歩き北海道満喫ツアーとなっていました。

お腹も心も大きくなったところで、会場のシェラトンホテル札幌に入りました。会場では、北海道ブロックの青年に大きな声と爽やかな笑顔で出迎えて頂いたのがとても印象的でした。

開会式が終了し、各自が事前に決めていたテーマごとに 20 名のグループに別れてディベート（討論会）を行いました。私は「家庭教育」を選択、討論のテーマは「子供の頃からモラロジー教育をするべきか？」。YES・NO に強制的に分けられ主義主張をするものでした。ディベートを終えた感想は、いろんな考え方・見方があり、物事にはいい面・悪い面があるのだと改めて感じる事が出来ました。その後は、会場をアサヒビール園に移し名物のジンギスカンを食べながら、各地の方々と交流を夜遅くまで深め合いました。

翌日は、岡田幹彦講師による記念講演「北海道の開拓と北の守りに捧げた先人達の志」を聞かせて頂き、私たちの知らないところで先人達の血の滲む努力があったのだと改めて知ることが出来ました。

「私たち青年が、次世代のために何ができるのか？」と今、問われているように感じた青年大会でありました。この答えは、来年の全国大会までに見つけたいと思っています。

今回は、来年の 11 月頃に四国ブロックで全国青年大会が、開催される予定です。

今回、吉田代表世話人をはじめ事務所会員の皆様のお陰により、北海道まで行くことが出来ました。この青年大会で学んだことを今後の私の人生に活かし、事務所の皆様に恩返しができるよう日々精進したいと「こころざし」を高く持って帰って来ることが出来ました。

ご協力してくださった皆様、ありがとうございました。感謝しております。

青年クラブ 細川成樹

われらの霜月祭は 10 回目

11 月 9 日（日）、平成 11 年から始まり今回で 10 回目になり、年々盛大になってきている霜月祭に参加した。天候が思わしくない。朝から小雨が降ったり止んだり。気温も低く、ようやく 12 度に。

歩き出すと、さっそく、福飯邸の前で、赤いはっぴ姿でお手伝いの細川輝美さんに出会う。販売



している「おづぬ餅」がよく売れ、補充に行くところとか。

山伏のおねりは、近鉄御所駅を正午にスタートし、街中に行く。全国から集まった山伏姿の修行者がほら貝を吹きながら、練り歩く姿は勇壮で貴重なもの。百数十人はいた。

次は、好物のそばである。大橋通りの行者そば手打ち実演会場へ急ぐ。毎年長い行列が出来、半時間も待たされることがざら。今年は、小雨の中、10 人あまり待って食することが出来た。奈良からはるばる来た、娘家族 4 人に我ら夫婦の 6 人で 5 枚のざるを注文。下の 2 歳の孫も口に入れて貰い、はしゃいでいた。満足して、席を立つ頃には長蛇の列になっていて、東川市長もここに顔でその最後尾に並んでいた。

小学 2 年の孫とスタンプラリーに走り回るが、午後 2 時になってきたので「蔵シックコンサート」会場へ急ぐ。入場には前売り券が必要で、私が購入した時には立ち見席しかなく、100 人分の前売り券は、発売と同時に売り切れたというほど

好評だそう。20坪ほどの蔵にすでにぎっしりと人が座り、入り口のわずかの隙間に立つことになったが、幸運にも空席があり、座らせてもらって演奏を聴く。蔵は立派なもので、太い梁に見事な漆喰壁、音響効果も抜群でホーム・スイート・ホーム、ユモレスクなどポピュラーな曲を聴く。元NHK交響楽団員だった公門俊之(こうもんとしゆき)さんのヴァイオリンはすばらしかった。

外に出ると、家族が寒い寒いと言いながらも、楽しそうに待っていた。相変わらず本町通は人で賑わっている。

吉田代表世話人は大神宮境内で物品の販売をしていたようだが、すべて完売で後片付けをしていた。

田村さんは、毎年「蔵シックコンサート」の手伝い。松村さんは柿を売っていたのだろうし、山下幸則さんもどこかで手伝い。その他にも御所事務所の会員がたくさん活躍していたよう。

旧家の見学もしたかったし、円照寺も見かけたし、観音院寄席も聞きたかったが時間が足りなかった。夜の円照寺から都町にかけてのミニ行燈3000個のプロムナードも素敵だった様だ。



ある大和高田市の地域起こしリーダーの「御所の霜月祭はずいぶん良くなりましたな」の言葉に、陰ながらもっと協力したいと思う。

米田徳七郎

2

1

<p>で、けん盤楽器でピアノとげん楽器でバイオリンとです。どちらも、木の材料でできています。音楽は、まるでCロみたいな声で、とてもおだやがでした。この曲をCロにして、売ったらどうかなとぼくは、思いました。大人になったら音楽家になろうかなと思いましたが。</p> <p>以上</p>	<p>「コンサート会場」 小二中村 甫</p> <p>今日、コンサートへおじい様と行きました。会場内は、すべて木でできていますように、見えましたが、ホロボロのようには、見えませんでした。会場に入れた人は、およそ100人。こんな人数が多ければ、ぎゅうぎゅうづめになるでしょう。歌一曲の数は、全部で11曲ぐらいでした。その中にも「天国と地獄」や「千の風になつて」など、日本で知られてる曲がありました。楽器は、二種類の楽器</p>
--	--

奈良オリエンテーリング”

10月26日(日)は、歩こう会10月行事の「奈良オリエンテーリングと山辺の道北部ハイク」朝からあいにくの雨模様ですが、参加者9人、誰一人として「今日はやめときましょう」と言う人はいません。とりあえず、奈良まで車で行ってみることになりました。奈良市に着くころには、空も明るくなっていたので、空模様を見ながら、オリエンテーリングコースを行けるところまで行こうということになりました。

ならまちセンターでオリエンテーリングマップを受け取り、1番から9番までのチェックポイント(ポスト)の位置を地図に書き込みます。いざ出発。オリエンテーリングの面白さは、所々に設置されたポストを探しながら歩くことにあります。通常は一人または数人のグループに分かれて競い合うのですが、今回は全員一緒に、ポストごとに先導役が入れ替わることになりました。どうやら、春日大社～白豪寺などを巡るコースになりそうです。

監督は入念に下調べをしてくれた米田徳氏、コーチは「奈良まほろばソムリエ」候補生の松村氏です。二人のおかげで、なんとか間違えることなく、ポストを発見しながら進むことができました。

春日大社を過ぎ、新薬師寺を通過するころから、再び雨が降り始めましたが、一行の勢いは止まるところを知りません。林の中で雨をしのぎながら昼食をとり、たわわに実った柿を失敬しつつ(皆ではありません。若干2名のガキ大将だけです)、ひたすら歩き続けたのでした。

春日大社、白豪寺では敬虔な気持ちで参拝し、奈良教育大では、新薬師寺金堂跡の発掘調査地を見学、ソバ屋さんでおいしいソバをご馳走になったりと、身も心も充実した一日となりました。



浅見 潤

四国遍路の旅



平成18年春から始めた四国巡礼、今年の春にちょうど半分の44番札所まで終了。

後半の開始で第45番札所海岸山(かいがんさん)岩屋寺(いわやじ)からのお参りです。今回初めて巡礼の旅に参加されたHさん、常連の6名と共に11月23日朝4時御所事務所を2台の車に分乗し愛媛県を目指しました。

道中は実に順調で、いつもなら明石海峡大橋まで来ると東の空から太陽が昇り始めるのだが、今回は大鳴門橋も渡り徳島市あたりでやっと太陽にご挨拶。徳島自動車道、松山自動車道を走り4

5番札所に10時頃到着。

ただちに本堂にお参りをする。初参加のHさん早速朱印帳を探すが販売しておらず、お参りだけして46番浄瑠璃寺(じょうるりじ)へ。こちらで朱印帳を買い求め初めて記帳していただく。そこから47番八坂寺(やさかじ)、48番西林寺



(さいりんじ)と歩いてお参りし49番浄土寺(じょうどじ)で夕暮れとなる。

今夜は松山市内で宿泊、ホテルで仕入れた情報の店で郷土料理に舌鼓を打ち、ホテル地下のかけ流し温泉で疲れを取り、休みました。

2日目、朝から予報通りの冷たい雨になり、50番繁多寺(はんだじ)から51番石手寺(いしてじ)は傘を差して歩いてお参りをしましたが、52番太山寺(たいせんじ)から53番円明寺(えんみょうじ)は車でのお参りとなりました。これで、松山地域のお寺はすべてお参りしたことになり、少し時間は早い为天候も思わしくないので今回の遍路歩きはこれまでとしました。

帰りは4人乗車の1500ccのハイブリッドカーと3人乗車の1800cc乗用車の燃費対決。結果はやっぱりハイブリッドカーの勝利となりました。

またMさんは、大好きなつるし柿を作るため、車が止まる度にお土産と称して渋柿を大量に買い込み、せっせと車のトランクに運び込んでいたことを付け加えておきます。

上田 均

均とマサヨの独逸見聞録 その7

この国の公共トイレは有料です。いつもポケットに小銭を入れておかないと困ります。

トイレも色々で、デパートでは入口に管理人が居て、カレー皿の様な皿に出る時お金を入れます。私達(外人)が入ると出てくる時皿の上には1オイロ銀貨(1ユーロ約150円)が置いてあります。私達は知っているので数セントしか置きません。町中のトイレは数セント入れてドアを開け、出るときは勝手にドアが開きます。誰か出てくる時に入ればタダで済みますし、友達と入れれば安く済みます。

写真は公園の有料トイレです、横の車と比較すれば大きさが分かります。

さすがにトイレは綺麗です。



運営委員会報告

11月22日午後5時より、11月度の運営委員会が開催され11人が出席。吉田代表世話人は、「年末が近づいてきました。モラロジー活動もよろしく願います」と挨拶しました。

報告事項

1. 12月4日(木)午後8時から「人権学習会」を行ないます。講師は、浦一志氏、多数の参加をお待ちしております。
2. 青年クラブより、11月16日(日)のクリーンキャンペーンは、雨天のため中止しました。1月または2月に開催予定。また、12月21日(日)10時から近鉄橿原神宮前駅でユニセ

フ募金を行ないます。

3. 生涯学習講演会を11月22日(土)午後2時から一角昌博講師をお招きして、事務所講堂で開催しました。参加者は52名。詳細は、来月山下実行委員長から報告します。

審議事項

1. 平成21年「新年会」を平成21年1月10日(土)午後5時30分から事務所で行なう。第1部は、細川参与の講話。第2部の懇親会は、女性クラブに一任。会費は2,000円。申し込み締め切りは12月26日(金)各地区委員まで。

編集後記

時たま、カーラジオから「こはふるさと旅するラジオオハチマるちゃん号」の放送が流れてきてました。地域の人と触れ合い(ふるさとの元氣)を届ける番組です。さる、十月十三日、隣のいきいきライフセンターに八ちゃん号がやってきました。十二時二十分から二十分間御所出身歌手「田中星児」さんをゲストに中継されました。聞き逃すことはなく今とばかり前列に陣取り、アナウンサーの分単位、秒単位のお喋り、話術に聞き入りました。書いたメモを持ちながら、読むばかりではなく、殆ど見ないでのお喋りです、さすがプロ。

霜月祭、商工会の皆さんが積極的にPR。その成果でしょうか、当日は、小雨にもかかわらず大勢が見物散策に。午後二時頃には店仕舞いするお店も出ていたようでした。盛況で嬉しいことです。

よう

